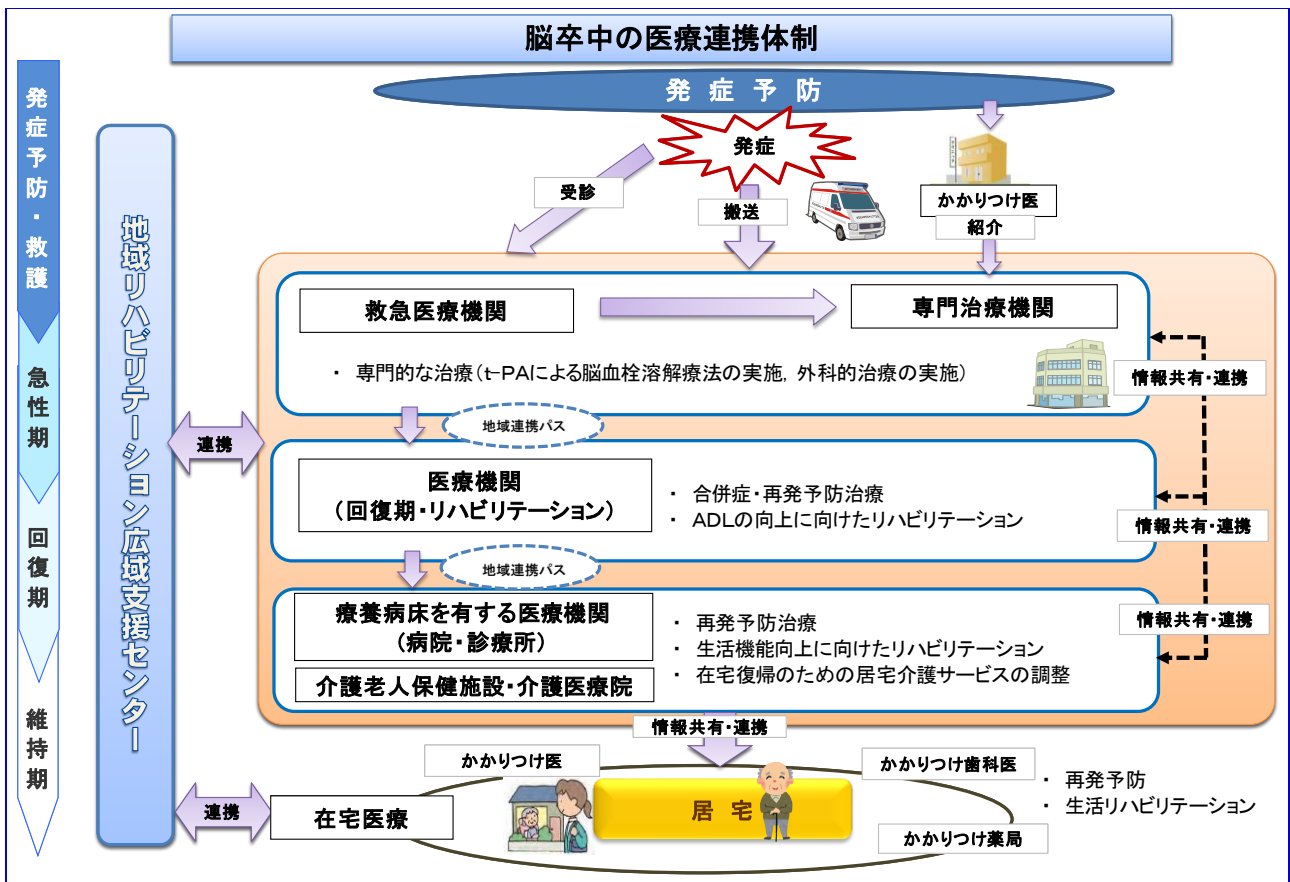


【図表資-5-215】熊毛保健医療圏 脳卒中の医療連携体制図



[県健康増進課作成]

## 【図表資-5-216】熊毛保健医療圏における医療機能の基準（脳卒中）

### ◎初期対応施設

- ・時間内又は夜間・休日輪番対応時に、直ちにCTが撮影できる。
- ・t-PA治療の適応患者の推定が可能である。
- ・呼吸・循環管理が可能で、高血圧、糖尿病、心房細動などに対応できる。
- ・脳外科及び神経内科と連携がとれている。
- ・診療ガイドラインに則した診療を実施している。
- ・転院・退院調整機能を持ったスタッフがいる（専任の必要はない）。

### ◎急性期施設（救急医療機能）

- ・夜間でも休日でも、t-PA治療が可能な体制が整備されている。
- ・呼吸・循環管理、栄養管理が可能で、高血圧、糖尿病、心房細動に対応できる。
- ・診療ガイドラインに則した診療を実施している。
- ・リスク管理のもとに、早期リハビリが可能である。
- ・転院・退院調整機能を持ったスタッフがあり、転院・退院に際し患者及び家族を精神的にサポートしている（専任の必要はない）。
- ・退院時カンファレンス又は共同指導体制が望まれる。
- ・地域のケア・マネージャーと連携がとれている。

### ◎回復期施設（身体のリハビリ回復体制）

- ・脳疾患リハの施設基準を取得している。
- ・診療ガイドラインに則した診療を実施している。
- ・再発予防（抗血小板療法、抗凝固療法）、高血圧、糖尿病、心房細動などに対応できる。
- ・口腔ケア及び摂食機能訓練が可能である（資格は問わない）。
- ・入退院・転院調整機能を持ったスタッフがあり、転院・退院時に際し患者及び家族を精神的にサポートしている（専任の必要はない）。
- ・歯科医との連携が望ましい。
- ・紹介医又は転院先に適切な診療情報提供を行い、治療計画を共有している。
- ・地域のケア・マネージャーと連携がとれている。
- ・転院時及び退院時カンファレンスが望まれる。

### ◎維持期施設（日常生活への復帰・維持リハビリ体制）

- ・診療ガイドラインに則した診療を実施している。
- ・再発予防（抗血小板療法、抗凝固療法）、高血圧、糖尿病、心房細動などに対応できる。
- ・生活機能の維持向上のためにリハビリを実施している（担当者の資格は問わない）。
- ・可能な患者には離床して食事をとらせている。
- ・口腔ケア及び認知症への対応ができる。
- ・入退院・転院調整機能を持ったスタッフがあり、転院・退院に際し患者及び家族を精神的にサポートしている（専任の必要はない）。
- ・歯科医との連携が望ましい。
- ・紹介医又は転院先に適切な診療情報提供を行い、治療計画を共有している。
- ・地域のケア・マネージャーと連携がとれている。

### ◎かかりつけ医施設（生活の場での療養支援体制）

- ・当該患者の状況を総合的に把握している。
- ・診療ガイドラインに則した診療を実施している。
- ・再発予防（抗血小板療法、抗凝固療法）、高血圧、糖尿病、心房細動などに対応できる。
- ・紹介医又は入院先に適切な診療情報提供を行い、治療計画を共有している。
- ・患者が希望する場合には、訪問診療が可能である。
- ・急変時の初期相談又は対応が可能で、入院施設との連携がとれている。
- ・口腔ケア（歯科医との連携でも可）及び認知症への相談にのれ、各診療科医との連携がとれている。
- ・ケア・マネージャー、訪問看護、通所・訪問リハビリなどの介護福祉サービス、薬局、歯科などと連携し、情報共有を行っている。

[熊毛支庁作成]